

伝統芸能
パンソリ
による
韓国文化の理解

パンソリのパンとは、多くの人が集まって何かをする場所を、ソリとは人の肉声は無論のこと、鳥獣や虫の声から雨風に至るまで、およそ森羅万象の発する音声すべてを意味する言葉であり、パンソリ芸人はその声を会得するために血を吐く修行を重ねた。

——野崎充彦『朝鮮の物語』(大修館書店、1998年)より



- 開催日 2014年9月15日(月・祝)
- 場所 国立民族学博物館 講堂
- 時間 13:30 ~ 16:30 (開場13:00)
- 申込 要事前申込【8月21日(木)必着】・参加無料
※当日は無料観覧日です
- 定員 450名

主催：国立民族学博物館
協賛：韓国国際交流財団
後援：公益財団法人 日韓文化交流基金
駐大阪大韓民国総領事館 韓国文化院



伝統芸能パンソリによる 韓国文化の理解

本研究公演は、2009年に引き続き、韓国の伝統芸能パンソリの舞台公演およびワークショップを通して韓国文化の理解を図ろうとするものです。舞台公演では、パンソリの古典演目の中から『水宮歌』を取り上げます。パンソリはひとつの物語を完唱するのに数時間を要し、通して演奏されることはなかなかありません。またパンソリは一人語りを基本としながらも、現在ではオペラ形式で演奏されるなど多様化しています。今回の公演では、様々な演奏形態を取り入れながら、南海星先生とその弟子たちの歌声による『水宮歌』のストーリー全体を楽しむことのできる公演を開催します。ストーリー全体を鑑賞することにより、ソリ(唄)だけでなく、物語の魅力も伝えます。ワークショップでは、南先生とその弟子たちによる実演を通して、「口伝」を伝承形態の基本とするパンソリが実際どのような形で師匠から弟子に伝えられるのかをご覧ください。たんなる公演では知りえないパンソリの世界を体験してもらい、参加者に「本物を実際に」学習していただく機会を提供します。



ー 9月15日 プログラム ー

パンソリについての解説 朝倉敏夫

公演 (演目は変更の可能性があります)

◎ 第1部

独唱「竜王が病を嘆く」場面～「スッポンが地上に赴く」場面
二人唱「動物たちの上座争い」場面～「スッポンがウサギと出会う」場面

◎ 第2部

唱劇「ウサギが海に向かう」場面～「竜王がウサギに騙される」場面
独唱「ウサギが地上へ帰る」場面～大団円

ワークショップ

- ◎ 口伝されるパンソリの伝承スタイルを実践披露
- ◎ パンソリを実際に体験学習していただく

出演 南海星、安聖民ほか11名

司会解説 朝倉敏夫 (国立民族学博物館 教授)



南海星 (ナム ヘソン)

重要無形文化財第5号パンソリ「水宮歌」技能保有者
金素姫先生師事(春香歌)、朴初月先生師事(水宮歌)
1975年 国立劇場長功労賞受賞
1985年 第55回春香祭全国パンソリ名唱大会大統領賞受賞
2006年 第16回桐里国楽大賞受賞
1985～2000年 パンソリ保存会副理事長歴任
現韓国国楽協会理事、南海星ソリ文化院院長



安聖民 (アン ソンミン)

1988年 関西大学文学部史学・地理学科卒
1989～1997年 東大阪市立太平寺小学校 民族学級講師
1998年 韓国に留学、南海星先生に師事
2002年 漢陽大学音楽大学院国楽科修士課程修了
2013年 第40回南原春香国楽大典・名唱部にて審査員特別賞受賞



※2009年の本館公演でのワークショップ風景

申込方法

往復はがきに ①氏名 ②住所 ③年齢(任意) ④電話番号 ⑤参加希望人数(本人を含め2名まで) ⑥「国立民族学博物館 友の会」会員番号(会員の方のみ)を明記の上、「9月15日研究公演」と書いて下記までお申し込みください。応募多数の場合は抽選となります。締切日以降、順次返信いたします。なお、参加申込された方の個人情報は、研究公演にのみ使用いたします。

宛 先: 〒565-8511 吹田市千里万博公園10番1号
国立民族学博物館 広報企画室 企画連携係

申込締切: 8月21日(木)必着

往信の宛名面

返信の文面

返信の宛名面

往信の文面

〒565-8511
吹田市
千里万博公園10番1号
国立民族学博物館
広報企画室 企画連携係

住所・氏名
ご自分の
①氏名
②住所
③年齢(任意)
④電話番号
⑤参加希望人数
⑥会員番号※
(会員のみ)
9月15日研究公演

※鉛筆のご使用はお控えください。

※「国立民族学博物館 友の会」維持会員および正会員の方は優遇枠がございます。

国立民族学博物館

●開館時間 10:00～17:00(入館は16:30まで)

●休館日 水曜日(水曜日が祝日の場合は、翌日が休館)

交通のご案内

●大阪モノレール... 「万博記念公園駅」徒歩約15分
*研究公演に参加される方は、参加券を自然文化園ゲート窓口でご提示ください。同園内を無料で通行できます。

「公園東口駅」徒歩約15分
*「公園東口駅」からは自然文化園(有料区域)を通行せずに来館できます。

●バス [近鉄バス] (阪大本部前行き) 阪急茨木市駅から約20分、JR茨木駅から約10分、「日本庭園前」下車徒歩約13分

●乗用車 万博記念公園「日本庭園前駐車場」(有料)から徒歩約5分
*「日本庭園前ゲート」横にある当館専用通行口をお通りください。

[大阪・万博記念公園]
〒565-8511
大阪府吹田市千里万博公園10番1号
広報企画室 企画連携係
Tel: 06-6878-8210 Fax: 06-6875-0401
www.minpaku.ac.jp/

